

第2学年○組 音楽科学習指導案

指導者 宮本 大輝

1 題材名 音がかさなっていくおもしろさを楽しもう

2 題材の目標

- (1) 身近な楽器に親しみ、音色に気を付けてリズムを演奏する学習に進んで取り組む。
(音楽への関心・意欲・態度)
- (2) いろいろな楽器の音をかさねて、よさや面白さを感じ取り、表現を工夫する。
(音楽表現の創意工夫)
- (3) 身近な楽器に親しみ、音色に気を付けてリズムを演奏する。
(音楽表現の技能)

3 ICT活用のポイント

(1) 電子黒板



- ① 活用のねらい
・拡大表示した楽譜に注目させることで、児童が正しいリズムを確認できるようにする。
- ② 活用の工夫
・ポイントとなる楽譜のページを最大限に拡大し、説明する。
・楽譜に書き込みながら、同じリズムの小節を分かりやすく説明する。
・電子黒板に表示した楽譜により、正しいリズムを確認して、リズム打ちの練習を行う。

(2) 電子黒板

- ① 活用のねらい
・動画に合わせて、拍の流れにのってリズム打ちをする。
- ② 活用の工夫
・テンポが取りやすいように、動画に合わせてメトロノームを鳴らす。

4 本時の学習(2/4)

(1) 目標

- リズムの特徴をつかみ、友達と合わせてリズム奏をする。

(2) 展開

時間	学習活動及び内容	・指導上の留意点○個別の支援○評価
5分	<p>1 「かぼちや」を歌い、前時の復習をする。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">友だちと合わせてリズム打ちをしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none">かぼちやを楽しく歌うことで、前時の内容を想起させ、本時の学習の意欲を高める。既習曲「山のポルカ」でリズム打ちしたことを振り返り、休符の役割を意識する。
30分	<p>3 リズム打ちの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none">1段目の1・2小節を練習する。1段目2段目を通す。3段目を2小節ずつ区切って練習する。動画を見る。全部通す。 	<ul style="list-style-type: none">リズム唱することで、予め手拍子のイメージを持つことができるようになる。どのようなリズムが出てくるのかを問うことでリズムの特徴や拍に合わせて演奏することの大切さに気付くことができるようになる。休む手の位置を確認し、四分休符を意識できるようになる。四分音符が連続する部分では、動画を活用する。 <p>○練習の時に机間指導をし、リズムが打てない児童には、ゆっくりとしたテンポで教師が一緒に打つ。</p>
10分	<p>4 友だちと合わせてリズム打ちをする。</p> <ul style="list-style-type: none">ペアで練習する。4人グループで確認する。 <p>5 全体で練習する。</p> <ul style="list-style-type: none">2回通す。 <p>6 本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none">ペアでのリズム打ちでは、合わせて打つことができているか、お互いの音や手を気にしながら打つように助言する。4人グループになり、ペアでよいところや直すところを見付け合うように助言する。 <p>○友だちと合わせてリズム打ちをしている。(観察)</p>